無印良品

溶融亜鉛シェルフ　２段 /3 段　組立て式（屋外用）

保存用　**取扱説明書**

- お買い上げありがとうございました。
- この取扱説明書は、必ず保管してください。
- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

注意　当製品は溶融亜鉛メッキ加工の特性上、表面に突起があったり、棚の網目に固まった亜鉛が付着している場合があります。怪我の恐れがありますので、指を入れるなど、棚の網目には手を触れないでください。

※ 組み立て前にプラス (＋)ドライバーをご用意ください。

各部の名称　※図は３段組立て式

内容物

２段 /3 段で棚板の枚数が異なります。
内容物をご確認ください。

			２段	３段
1	棚板		2 枚	3 枚
2	帆立		2 枚	
3	クロスバー		2 本	
4	クロスバー用 留め具		ビス /ナット /ワッシャー 各 5 個	
5	ジョイントパーツ (※)		8 コ	12 コ

(※)棚板に取り付けてあります。

⚠ 安全上のご注意

- 必ず水平で堅い面のうえに設置してください。
- 本体をしっかりと固定するため、右記「組立方法」に従って確実に組み立ててください。
  組み立てが不十分ですと、転倒や破損の恐れがあり、載せていたものが落下するなど大変危険です。
- 棚のうえに人が乗ったり座ったり、踏み台の代わりなどにしないでください。転倒や事故につながる恐れがあります。
- 背の高いものや重心の重いものを載せる場合は棚板の位置を低くし、下段に置くようにしてください。
  バランスが崩れ、転倒などにより思わぬ怪我や破損の原因になります。
- 耐荷重量を超えるものは棚に載せないでください。棚の変形や破損の恐れがあります。
- 当製品は屋外で使用することを目的に作られています。必ず屋外で使用してください。
- 小さなお子様が遊ぶ場所などでの設置はおやめください。棚にぶつかり、事故につながる恐れがあります。
- 必ずすべての棚板を取り付けてください。棚板を減らすことは、安定性が悪くなり転倒や破損の原因となります。
- フックなどを棚や帆立に引っ掛けて使用しないようにしてください。
- 上段のみにものを置いたり、片側に偏って荷重をかけたりしないでください。
- 本体に寄りかからないでください。棚板が外れ、思わぬ事故につながる恐れがあります。

溶融亜鉛メッキ加工について

当製品は、鉄材の腐食を抑制するために溶融亜鉛メッキ加工を施しております。ご使用にあたって、以下のことをご確認ください。

- 溶融亜鉛メッキ加工は、鉄材の腐食を抑制するものです。腐食を完全に防止するものではありません。
  ご使用環境やご使用年数により腐食が進行することがあります。
- 当製品は、鉄材のうえから溶融亜鉛メッキ加工を施しております。
  こすったりぶつけたりすると亜鉛皮膜がはがれ、錆や劣化の原因となります。
- 溶融亜鉛メッキ加工の特性上、表面に突起があったり、棚の網目に固まった亜鉛が付着している場合があります。
  怪我の恐れがありますので、指を入れるなど、棚の網目には手を触れないでください。
- 使い始めの段階で、ごくまれに表面に白い粉が付着する場合があります。これは雨や湿気により亜鉛が酸化したもので、
  耐食性には影響ありません。
- 耐食性を弱める恐れがありますので、棚に載せている植物に栄養剤・殺虫剤・消毒剤を使用する際には、植物を棚から降ろしてから作業をしてください。

組立方法

組立方法

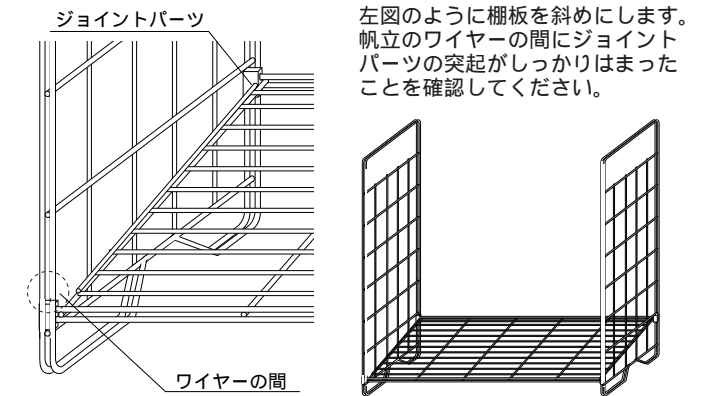
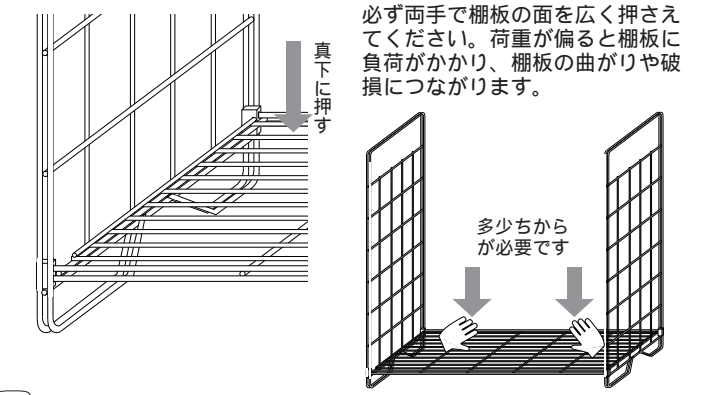
安全に組み立てていただくために、下記に注意してください。

注意

- 組み立ては必ず大人２人以上で行ってください。
- 必ず水平な場所で組み立ててください。不安定な場所での組み立ては、転倒や破損等の原因となり危険です。
- 怪我の恐れがありますので、軍手や手袋を着用してください。また、手や指を挟まないようご注意ください。
- 本体の安定のため、必ず最下段の棚板から設置してください。
- 棚板の位置を頻繁に変更することはおやめください。棚板に取り付けられたジョイントパーツが擦り減ったり、帆立のワイヤーの間の隙間が広がり、棚板の安定性が弱くなる恐れがあります。
- 屋内で組み立てる際には、床に布などを敷き、その上で組み立ててください。

1　帆立のワイヤーの間に棚板のジョイントパーツを合わせます。

左図のように棚板を斜めにします。帆立のワイヤーの間にジョイントパーツの突起がしっかりはまったことを確認してください。

2　棚板を両手で真下に押します。

必ず両手で棚板の面を広く押さえてください。荷重が偏ると棚板に負荷がかかり、棚板の曲がりや破損につながります。

3　②と同様の手順で他の棚板を取り付けます。

帆立を少し外側に広げると、棚板を帆立の間にいれやすくなります。広げすぎると棚板が外れる恐れがありますのでご注意ください。

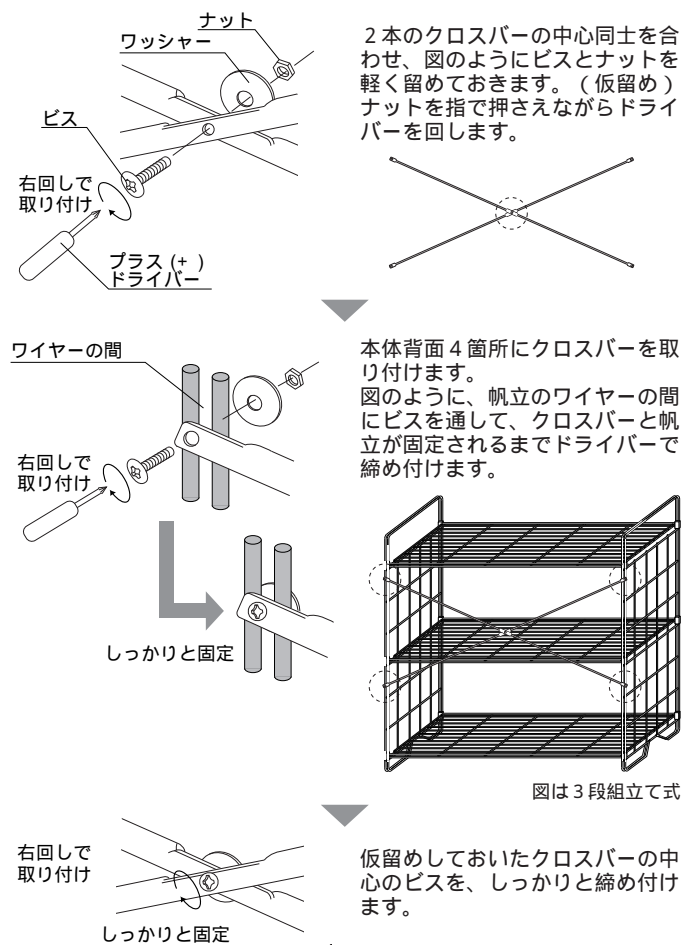
※必ずすべての棚板を取り付けてください。棚板を減らすことは安定性が悪くなり転倒や破損の原因となります

4　本体背面にクロスバーを取り付けます。

① ２本のクロスバーの中心同士を合わせ、図のようにビスとナットを軽く留めておきます。（仮留め）ナットを指で押さえながらドライバーを回します。

② 本体背面４箇所にクロスバーを取り付けます。
図のように、帆立のワイヤーの間にビスを通して、クロスバーと帆立が固定されるまでドライバーで締め付けます。

※図は３段組立て式

③ 仮留めしておいたクロスバーの中心のビスを、しっかりと締め付けます。

注意

- 本体の安定性を強めるため、クロスバーの取り付けは必ず行ってください。
- 留め具は小さな部品です。紛失しないようご注意ください。またお子様の誤飲などにご注意ください。
- 必ずすべての棚板を取り付けてご使用ください。

本体の移動

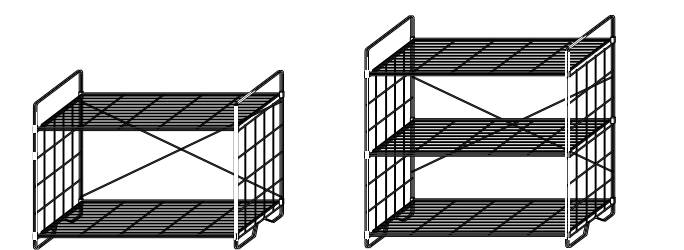
必ず帆立の上部を持って移動させてください。

- 棚に置いてある植物等を全て他の場所に移してから本体を移動させてください。
- 本体の移動は必ず大人２人以上で行ってください。

注意　棚板を持って移動させないでください。棚が外れる恐れがあり大変危険です。

耐荷重量について

２段　棚１枚２５ｋｇ　棚全体３０ｋｇ

３段　棚１枚２５ｋｇ　棚全体４５ｋｇ

注意　耐荷重量を超えるものは載せないでください。